

令和7年度 第1回岩美町男女共同参画審議会 議事録

1 日 時 令和7年7月31日（木）午前10時00分～午前11時25分

2 場 所 岩美町役場 2階 中会議室

3 出席者 出席委員7名 欠席委員3名

（委員）山田 恭子（女性団体連絡協議会） 岡田 美恵子（女性団体連絡協議会）
山本 克美（女性団体連絡協議会） 岩垣 伸一（社会福祉協議会） 山崎 洋二
（自治会長会） 加藤 真二（地区公民館長会） 中沢 政春（公募）
（事務局）次 長 橋本 大樹（岩美町教育委員会事務局）
廣田 哲子（ ）

4 概 要

1 開 会

委員総数10名のうち、本日の出席委員は7名で過半数に達しており、審議会は成立

2 あいさつ

教育長のあいさつ

3 委員紹介

資料の委員名簿順に自己紹介

4 会長及び副会長の選出

○事 務 局 岩美町男女共同参画推進条例の第15条第1項の規定に基づいて会長、副会長をそれぞれ1名ずつ互選によりお決めいただきたい。

（委員の中から、岡田委員に会長をお願いしてはどうかとの声あり。また中沢委員から副会長に立候補の発言あり。）

次の者が役員として選任されることに異議無く承認された。なお、選任された者は、その職務に就くことを承諾した。

会長 岡田 美恵子 副会長 中沢 政春

5 議 事

(1) いわみ虹色プランー岩美町男女共同参画計画ーにおける令和7年度の実施について

(事務局から実施内容について説明)

●副 会 長 何かご意見ありますか。

●委 員 講演会はより多くの方に参加いただいて、少しでもその内容について家で話題にしてもらうことで男女共同参画につながれば、意味や効果があると思うのでは非やっていただきたいと思っている。

●委 員 各種審議会委員会等の女性の登用状況については、男女共同参画審議会、文化財保護委員会では女性割合が増えたが児童館運営委員会では減っている。また、全体の割合では、38%あたりで推移しており、事務局による周知や声掛けをしても残念なことに大きな変化がないというのが現状である。

●委 員 男女共同参画について話題にすると周りから『難しい』という言葉が出る。こういうのは難しいからわからないと言われる。なぜ難しいんだろうということを考えると、いろいろな男女共同参画計画が出ているが形式ばって取っつきにくいものが多いからだと思う。男女共同参画というのは、自分たちが在りのままで生活しやすいように、お互いがお互いを必要としながら生活が楽にできればというのが一番の基本だと思っている。そのことが難しいととらえられてしまうほうがなぜなんだろうと思う。皆さん普通に考えることができたらいいのにと思う。

黒川さんの講演では、男女や子どもなどの脳の仕組みについてお話しされるので、そこで自分の思い込みやつらさに気づけたりする。そこからそれぞれの相手とわかり合えるきっかけになればと思うので、ぜひ皆さん聞いてほしいと思う。

●委 員 昨年度末の審議会で意見が出ていたが、これらの実施は計画をもとに実践し、その結果が出るわけで、なぜそうなったのか、もう少しPDCAの観点で突っ込んだ総括をして次につなげるよう議論していけば少しでも前に進んでいくのではないかと私は思う。

いろいろな実施をされている企業を広報やケーブルなどを使って紹介することをしてみてはどうだろうと思っている。

●委 員 自分らの年代とは違い、今の若者世代は家事や育児などと言われることなく分担している。しかし、私たち世代が主に担っている自治会役員では、会長や区長になっているのは男性で女性がいない。役員は男性が担うものという年代層による流れが当たり前となっていることが課題で、そのような流れを打破していけるよ

うにここで協議していければと思う。

●委 員 男女共同参画社会の実現にあたり、男女の人数が同じことを求めるというのではなく、それぞれの場でそこに至る機会が均等に用意されているのかどうかをこの審議会でチェックすることがポイントではないだろうか。進捗状況の確認や把握は必要だが、女性の人数が何人足りないことの議論が目的ではないと思っている。男女共同参画推進条例に掲げられてることを基本理念として男女共同参画を推進しなければならないとなると、人権や差別や権利のことなどその大きな課題を認識し進めなければならないことが男女共同参画をより難しくしているのではないかと思う。生活の中での男女共同参画が実現していくにはこういうことが必要とされることをあげてもらい審議会で認識を共有する。また、実現のための機会をどう平等にしていくのかを押さえるべきではないだろうかと思う。

●副 会 長 男女共同という四つの漢字が非常に固い感じで、絶対に同じでなければというイメージを強く思わせてしまうのではないだろうか。男性、女性関係なく男性中心の職種でも女性がどんどん採用されている。

●委 員 機会の平等というより女性の数が少ないので増やせばいいというような考えに対してそれで平等になるのかと思うが、それぞれの価値観や認識の違いなどでのものの見え方が違うのかもしれない。

●委 員 国や県などの資料ではパーセントで示してくるが、大事なのは自分たちの地域や家庭からこれを手伝ってほしい、手伝おうかなどのやり取りから少しずつでも始まっていくものではないかと思う。

●副 会 長 数字は物事を進める一つの目安となるもので、問題点や改善点を探るためには必要だと思う。

●委 員 基本は基本として時代や事例の変化によって人の心も変化していくものであるし、男女共同参画に関する言葉も変わっていくので、それはそこに合った取り組みをしていけばいいということと、家族の中ではいろいろな考えがあると思うが何かを決めるのに自分の意見が言えない方もいる。昔からの習慣で家の主人に決定権があるといった家庭もまだまだある。立場もそれぞれあるだろうが、自分の気持ちを素直に言えてその思いを受け止めてもらえることが大事であるし、いろんな方の意見を集約して今の世代の人達の今後が、また次世代の人たちが生活しにくくならないようにしていくことが大事である。「〇〇ねばならない。」を崩していくのか、続けていくのかを審議していくべきだが、難しい面もある。

●副 会 長 そのほかご意見等ありますか。

●全 委 員 (意見なし)

●副 会 長 それでは、いわみ虹色プラン－岩美町男女共同参画計画－における令和7年度の取組について、事務局からの提案どおり進めるということによろしいでしょうか。

●全 委 員 (異議なし)

(2) その他

○次期計画策定スケジュールについて

(事務局から取組内容について説明) 1:20

●副 会 長 何かご意見等がありますか。

(委員全員がなし)

4 閉 会

以上をもって議事全ての審議を終了し、午前11時25分閉会した。